

平成27年度「山の日制定記念」植樹祭を開催

下北森林管理署

6月23日(火)に、むつ市川内町の曾古部山国有林において、むつ市と共催で「山の日制定記念」植樹祭を開催しました。会場は川内川溪谷の遊歩道に隣接する分収造林伐採跡地の溪畔林で、景観の維持や野生動植物の生息・生育場所確保などのため、また、漁協や地方公共団体の要望に応じて広葉樹を植えることとした区域です。

当日は来年度から実施される国民の祝日「山の日」のパンフレットを配布し、その説明をしてから植樹に移り、川内小学校5年生の児童をはじめ、フォレストボランティア員や緑のオーナー等約100名が参加し、ミズナラとイタヤカエデをそれぞれ250本ずつ植樹しました。

好天に恵まれ暑い中、特に小学生は慣れない作業に悪戦苦闘しながらの植樹でしたが、「思ったより大変だった」、「どんどん大きく育てて欲しい」等の声が聞かれ、貴重な体験となった様子でした。

最後に児童代表から「みどりの誓い」を述べてもらい終了しました。

また植樹祭終了後には小学生を対象に署職員が森林教室を開催し、地域にある木、地域の林業の歴史等について学んでいただき、地域の森林の大切さについて関心を持っていただくことができました。

「山の日」は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日として制定されており、今回植樹された方々、児童の皆さんが「山の日」に、今回の植樹祭を思い起こし、少しでも「山」に関心を抱いていただければ幸いです。



児童と植樹をするむつ市長



「みどりの誓い」の様子



森林教室の様子

